学　年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高３ 総合進学 〔理系〕	数学	数学研究	数学Ⅰ，数学Ⅱ， 数学A，数学B 数学Ⅲ	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B

１．授業のねらい

（１）既習の数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂの基礎的な知識の定着と技能の習熟を図ります。

（２）事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，これらを活用し，総合的に解く力を育てます。

（３）必要に応じて，電子黒板等を活用して，様々な事象を視覚的に捉えて理解を深め，具体的なイメージを持って問題を解決する姿勢を養います。

２．授業のすすめ方

数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂの問題演習を行います。定着を図るため，１クラスを２つに分け少人数で演習授業を行います。クラスはプレテストを行い，習熟度別に分けます。

３．学習上の留意点

（１）テキストの問題を解く場合は，テキスト後ろの公式集や教科書や参考書などを用いて，その単元の公式やポイントを復習してください。

（２）解けない問題はそのままにせず，理解するまで追及してください。手がつけられなかった問題も，授業後の復習において自力で解くようにすることで，さらなる飛躍が期待できます。

（３）分からない問題にぶつかったときも簡単にあきらめないでください。手を使って具体的に調べ，頭を使って考えることで，数学的な力が養われます。

４．副教材・参考文献

（１）改訂版キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ受験編（数研出版）

（２）参考書は特に指定しません。必要に応じて，各自に合ったものを購入してください。

５．評価方法

（１）定期考査は，中間考査１００点，期末考査１００点で実施します。

（２）平常点は，１学期が２０点，２学期が１０点です。

授業に対する関心・意欲・態度などの学習態度と，宿題等の提出物の状況で毎学期評価します。

６．定期考査

（１）テキストの内容を参考にして出題します。

（２）各定期考査の範囲（予定）

１学期中間考査［数学Ⅰ・Ａ］

１学期期末考査［数学Ⅱ・Ｂ］

２学期期末考査［数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ］

※正式な各定期考査の範囲は，考査の１週間前頃に担当者より発表します。

７．授業計画

	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4 5 6 7	基礎学力到達度テスト問題演習 第１章　式と計算 １　式の計算／２　式の値／３　１次不等式／ ４　命題と集合 第２章　２次関数 ５　関数とグラフ／６　関数の最大・最小／ ７　２次方程式，２次不等式／ ８　２次関数のグラフとｘ軸の共有点 第３章　図形と計量 ９　三角比の基本／１０　三角比と図形（1）／ １１　三角比と図形（2） 第４章　データの分析 １２　データの分析 第５章　場合の数と確率 １３　場合の数，順列／１４　組合せ／ １５　確率（1）／１６　確率（2） 第６章　図形の性質 １７　図形の性質（1）／１８　図形の性質（2） 第７章　整数の性質 １９　約数と倍数／２０　不定方程式／ ２１　整数の性質の種々の問題 第８章　式と証明 ２２　二項定理，整式の除法，分数式の計算／ ２３　恒等式，等式・不等式の証明 第９章　複素数と方程式 ２４　複素数とその計算，２次方程式の理論／ ２５　剰余の定理・因数定理，高次方程式 第１０章　図形と方程式 ２６　点と直線／２７　曲線と直線／２８　軌跡と領域 第１１章　三角関数 ２９　三角関数（1）／３０　三角関数（2） 第１２章　指数関数・対数関数 ３１　指数関数・対数関数（1）／ ３２　指数関数・対数関数（2） 第１３章　微分法・積分法 ３３　導関数と接線／３４　関数の値の変化／ ３５　微分法の応用／３６　不定積分・定積分／ ３７　面積（1）／３８　面積（2） 第１４章　ベクトル ３９　ベクトル／４０　ベクトルと平面図形／ ４１　ベクトルと空間図形	中間考査 期末考査	○基礎学力到達度テストに向けて，実践力を身に付ける。 ○典型的な基本～標準レベルの入試問題に触れ，反復して解くことで定着を図る。
二 学 期	9 11 12	第１５章　数列 ４２　等差数列・等比数列／４３　種々の数列／ ４４　漸化式と数列／ ４５　数学的帰納法，数列の応用 第１章～第１５章 （別問題でもう一通り再演習）	期末考査	○高校卒業に相応しい数学力を完成させる。
三 学 期	1	卒業前教育	卒業前教育テスト	